

目標（ゴール） 各団体が自律性を高め、持続的に付加価値の高いサービス提供と、経営改善ができる体制を構築し、若者や女性に選ばれる職場になること

＜支援チームのミッション＞

- そのための手段として、令和7年度末に策定した「**県の支援計画**」の**具体化**などを通じて、**各団体に寄り添い、自律性向上に向けた伴走支援**をすること。
- 牧野植物園を皮切りとする公募切り替えに当たっては、以下の**指定管理制度改革が実行**されることを念頭に伴走支援を行うこと
 - ・ 付加価値の高いサービス提供によって得られた**収入は指定管理者に帰属**
 - ・ 「**民間事業者の参画**」が**公募条件に追加**されることや、**審査基準に「付加価値が高いサービス提供」が追加**されること など

0 県の支援チームによる伴走支援

- 各団体の自律性向上に向けた取組を支援するため、各施設の所管課職員等による伴走支援を実施

施設名	管理団体	担当課	支援員	協議状況
県立美術館	文化財団	文化振興課	井上補佐	週1回程度
坂本龍馬記念館	文化財団	歴史文化財課	西岡チーフ	週1回程度
高知城歴史博物館	土佐山内記念財団			週1回程度
春野運動公園、県民体育館等	スポーツ振興財団	スポーツ課	山尾チーフ	月1回程度
のいち動物公園	のいち動物公園協会	公園上下水道課	松村チーフ	2週間に1回程度
牧野植物園	牧野記念財団	自然共生課	吉岡チーフ	ほぼ毎日

1 各種補助金等の活用見込み

- 県の各種補助金等による支援を実施

（単位：百万円）

支援制度	活用団体（用途概要）
こども・子育て応援環境整備事業費補助金	＜準備中＞ ●文化財団（美術館） ●のいち動物公園 ＜確定＞ ●文化財団（龍馬）：1.8
ローカルイノベーションプラットフォーム 新規	＜検討中＞ ●牧野

2 民間寄附等あっせん

新規：別紙

- 6月補正でふるさと納税型クラウドファンディングを活用した**補助制度を創設**

3 広報体制の強化経費の活用見込み

- 令和8年度限り（想定）の措置として、各団体の自由裁量で高付加価値型サービスの検討や広報などに活用できるよう管理代行料に**500万円**を上乗せ

＜活用事例＞

- **美術館**：とさでん交通電車への広告、地図検索時の施設上位表示機能の活用
- **坂本龍馬記念館**：デジタルサイネージ広告等を検討中
- **高知城歴史博物館**：検討中
- **春野総合運動公園、県民体育館、武道館**：動画やパンフレット作成、チラシ等の広報 等
- **牧野植物園**：HP改修
- **のいち動物公園**：検討中
- ※ **新たな官民プロジェクトの検討や、クラファンの子作り等**にも活用可能

4 団体の要望に応じた規制緩和等

- 企画展示等における高齢者等からの料金徴収や二重価格設定など、各団体の要望に応じて対応

＜検討状況＞

- **美術館**：自主事業の企画展示における高齢者等からの料金徴収
- **坂本龍馬記念館**：年間パス導入（条例改正）
- **牧野植物園**：ラン展期間中の料金引き上げを実施（二重価格も検討）

5 団体の要望に応じた外部人材の派遣 **新規**

- 各団体が、県民や利用者に対して、より良質で満足度の高いサービスを提供できるよう、**県が外部人材（アドバイザー）を派遣**

＜活用状況＞

- **のいち動物公園**：のいち動物公園の活性化に関する外部人材候補を選定中 **1**

1

補助制度創設の背景

- 人口減少の克服には、高付加価値型経済の転換を通じた**若者の所得向上**と多様な人材が活躍できる環境づくりとしての**働き方改革**の取り組みが不可欠。
- 県では、「隼より始める」取り組みとして、美術館などの県立文化施設等においても、施設及びその管理者である各団体が持つ物的・人的潜在力を最大限引き出し、**高付加価値型のサービス提供を通じた県民サービスの向上と経営改善につなげる取り組み**をスタート。
- 昨年度末には、民間経営者などの有識者から構成される「県立施設運営活性化懇談会」からの助言も踏まえ、各団体が「自律性向上計画」を策定。県では、「自律性向上計画」の実現を後押しするために、「**支援計画**」を策定し、庁内に「**県立施設運営活性化支援チーム**」を設置。
- その取り組みの一環として、**ふるさと納税型クラウドファンディングの仕組みを活用した「地域活性化支援事業費補助金（※）」**を拡充し、各団体のサービスの**高付加価値化に資する新たなプロジェクト**を後押しする。

(※) 令和5年度に創設。県内のNPOなどが行う、地域の伝統・文化の保全や健康づくりの促進などの地域活性化の取組を促進するため、クラウドファンディングによるふるさと納税の仕組みを活用した補助制度を創設

2

補助制度の概要

- 予算額（案）：**50,000千円**（補助金：30,000千円（補助金積算：**5,000千円×6施設**）クラファン手数料：10,450千円 委託料：9,550千円）
- 補助事業者：自律性向上団体（のいち動物公園協会、文化財団、牧野記念財団など6団体）
- 補助対象事業：**高付加価値型サービスの提供を通じて独自の収益事業の創出・拡大に資する事業**
(原則として、「**自律性向上計画**」に基づく自主事業であって、自律性向上団体と県（施設所管課）の協議により決定）
- 補助対象経費：事業を実施する上で必要な経費（※団体の経常的な人件費を含む経費、食糧費は除く）
- 資金調達：**All or Nothing（目標達成）型とAll in（実行確約）型で選択可能**
 - All or Nothing型：目標金額に達した場合のみ資金を受け取る方式（達しない場合はゼロ）
 - All in型：目標金額にかかわらず、集まった資金をすべて受け取る方式
- 補助率：定額 ※寄附額からクラウドファンディングサイト手数料、返礼品代などを除いた額を交付
- 補助額：**All or Nothingの場合**：下限額 50万円 上限額なし、**All inの場合**：上下限なし



＜補助金交付イメージ＞※返礼品あり・All or Nothing型の場合
 ● **5,000千円補助交付するなら8,333千円**の資金獲得が必要
 ● 手数料率等は**40%程度**
 (サイト手数料20.9%+返礼品経費19.1%程度)

想定されるプロジェクト

- マレーグマの聖地復活プロジェクト
- 土佐弁＆多言語音声ガイド制作プロジェクト
- 絵金よこのぼり修復プロジェクト 等



絵金よこのぼり

(参考) これまでの地域活性化支援事業費補助金の活用事例

- ・ 幕末の「堺事件」に関する顕彰碑の保存修理プロジェクト
- ・ 古い着物などを再利用した衣装のファッションショーの実施
- ・ ツキノワグマとの共存プロジェクト（シンポジウム開催） 等

(参考) 寄附金の流れ（返礼品あり・All or Nothingの場合）



※ ④寄附金額からサイト手数料20.9%及び返礼品経費19.1%を差し引いた額を⑤補助金として交付

目的

本県を事業フィールドとして新事業の展開を希望する全国のスタートアップ企業等を呼び込み、事業化に向けた取組をサポートすることで、県内への定着を図り新事業創出につなげる

現状

R7年度ローカルイノベーションプラットフォーム

- 県内の地域課題の解決と県内での新事業創出を目的として実施。多くの県外企業から提案があり、**地域課題をビジネスのチャンスととらえる企業が多いことがわかった。**
- 包括協定先の協力により、**スタートアップ企業等の呼び込みが促進**された。参加企業からも、**県の手厚い支援が好評**

R8.4.14時点

オープニングイベント参加者数	63 事業者等(87名) 【内訳】 県内：45事業者等 県外：18事業者等
<課題解決提案窓口> 解決策提案への応募	R7.11.07時点 16件の課題を公開中 応募総数：27件(県内企業2社)
<新事業創出支援プログラム> 課題説明会参加者数	115 事業者等(148名) 【内訳】 県内：35事業者等 県外：74事業者等
新事業創出支援プログラム	5 課題を公開中 応募総数：27件(県内企業5社) マッチング件数：4件 ※マッチング継続中：1件

課題

- 地域の個別課題に対して解決策を募集したため、課題解決に直結する提案が多く、結果、**既存サービスの導入にとどまるケースが多かった。**
 - 県内企業とスタートアップ企業との**協業が難しかった。**
- ⇒ **・県内での新事業創出に特化**
・県外企業を呼び込むスキームに見直し

令和 8 年度の取り組み

R7-8事業

- ◆ R7年度にマッチングした案件をR8年度に伴走支援する

R8事業

【強化ポイント】

- 高知県の**強みや特徴（課題、資源、環境など）を提示し、本県を新事業のフィールドとするビジネスプランを募集**するスキームに見直し。
- **関係機関や県内企業とのマッチング、既存補助金の活用、アドバイザーによる伴走支援、サテライトオフィスの紹介などの手厚いサポートを行う**ことで、県内での拠点設置及び定着につなげる。
※ヘルスケアの取り組み事例を参考に

事業のスキーム

キックオフイベント

- 事業フィールドとしての高知県の強みや特徴（課題、資源、環境など）を提示し、本県を事業フィールドとして新事業の展開を希望する全国のスタートアップ企業等を募る
- 参加企業60社想定 アーカイブ配信あり

現地見学対応 相談対応

- 現地を訪問し、市町村や地域のキーパーソンとの直接の対話を通じて、企業側に本県でビジネスを行う事への具体的なイメージを描いてもらう
- ビジネスプランに関する相談や本県への理解を深めるための相談に対応

ビジネスプランの募集

- 本県をフィールドとして行うビジネスプランの募集を開始

ビジネスプランの選考

- 「事業性」や「高知県への貢献度」を基準に書類選考を行う
- 8 件程度

ピッチ会

- スタートアップ企業等と受入れ先等候補のマッチングに向けて、スタートアップ企業等がビジネスプランを発表

マッチング

- ピッチ会の参加者に対し、アンケート等で意向の確認を行い、スタートアップ企業等との協議の場を設けるなどマッチング成立に向けた取組を行う
- マッチング目標 5 件

マッチング後

- ビジネスプランの実現及びスタートアップ企業等の本県への拠点設置につなげる
- スタートアップ企業等と受入れ先等が自立的な取組ができるようにサポート

高知ローカルイノベーション プラットフォーム 2026



【7/15東京開催】キックオフイベント詳細

開催時間：14:30-18:00・開催場所：東京イノベーションベース・参加無料

「高知LIP」とは？ / What is KOCHI-LIP?

高知県の持つ強みや独自性を具体的に提示し、本県を実証フィールドとして新しい事業モデルを創造したい全国のスタートアップ企業などを募集します。

さらに、事業化に向けたサポートを行うことで、県内での新事業創出を目指す取り組みです。

01 事業展開を見据えた「全国共通課題の高密度な実証フィールド」

高齢化や担い手不足が進む高知県は、日本の未来の縮図と言っても過言ではありません。そのため、高知での成功事例は、全国への展開も見込むことができ、これからの日本全体に広がる「事業モデル」を創出する実証フィールドとして最適なエリアです。

02 取組への本気度が高い「熱量ある行政サポート」

高知県庁が直接関与する事業のため、各市町村との連携・働きかけを含めた本気のサポートが充実。補助金や実証支援、マッチングまで一体的に支援します。

03 ブルーオーシャンを開拓できる「大きな社会的インパクト」

都市部のレッドオーシャンでは埋もれてしまっているソリューションも、高知では「初」になれる可能性大。実際に社会に実装することで、社会的な注目度も高まりメディアへの掲載や事業展開につながります。

募集テーマ / Submission Theme

7月15日のキックオフイベント後に随時公開いたします。

年間スケジュール / Schedule

応募後のスケジュールについては、個社によって異なることがあります。詳細については応募後に事務局から連絡いたします。

- **7月15日（水）**
キックオフイベント in 東京
本事業の概要を説明するとともに、各市町村の担当者から課題テーマを共有します。
- **7月16日～9月頃**
現地見学・個別相談 / ビジネスプラン応募
ビジネスプラン検討に向けて、関心のある自治体を訪問して現地見学や協議を行ったり、ビジネスプランや事業への理解を深めるための運営事務局との個別相談を行うことができる期間です。
ビジネスプランは随時、専用フォームから応募いただけます。
- **～10月頃**
ビジネスプラン選考
応募のあったビジネスプランについて、専門家を交えた一次選考を事務局が行います。
- **12月頃**
ピッチ会 in 高知
一次選考にて選ばれたビジネスプランを市町村向けにプレゼンしていただきます。
- **2027年1月頃**
マッチング
各市町村の意向をもとにマッチング事業者を選定。プロジェクト化に向けた準備を進めます。
- **2月以降**
プロジェクト始動
官民共創型ビジネスの創出に向けた実証モデルの構築を行います。